

MEDIAEDGE

MEBC-X1 MEBC-X1S

取扱説明書



July 21, 2015

Version 2.0

Copyright (C) 2015 MEDIAEDGE Corporation

目次

I. はじめに.....	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項.....	2
■ 注意事項.....	3
■ 個人情報の取扱いについて.....	3
■ 商標について.....	3
■ 警告.....	4
I-2. ご使用前に.....	5
■ パッケージ内容の確認.....	5
■ 当社ホームページについて.....	5
■ ソフトウェアのバージョンについて.....	5
I-3. 留意事項.....	6
■ 表記について.....	6
■ ご注意.....	6
■ 制限事項.....	6
■ 利用許諾について.....	6
II. MEBC-X1 について.....	7
II-1. 概要と特長.....	8
■ II-1-1. MEBC-X1 の概要.....	8
■ II-1-2. MEBC-X1 の特長.....	8
■ II-1-3. 再生可能なコンテンツ.....	9
■ II-1-4. USB ストレージ.....	10
II-2. 各部の名称と機能.....	11
■ II-2-1. MEBC-X1.....	11
■ II-2-2. MEBC-X1S.....	13
II-3. 機器の接続と動作確認.....	16
■ II-3-1. 機器の接続.....	16
■ II-3-2. 起動とシャットダウン.....	16
■ II-3-3. 再生確認.....	17
■ II-3-4. 作業の流れ(ワークフロー).....	17
■ II-3-5. 操作画面について.....	18
II-4. コンテンツの操作.....	19
■ II-4-1. コンテンツの管理.....	19
II-5. プレイリストの操作.....	23
■ II-5-1. プレイリストの簡易編集.....	23
■ II-5-2. プレイリストの編集画面.....	27
■ II-5-3. クリップの再生.....	28

■ II-5-4. クリップの再生情報	29
■ II-5-5. クリップの編集	30
■ II-5-6. プレイリストの編集	31
■ II-5-7. ショートカットキーによる操作	33
II-6. 再生の操作	34
■ II-6-1. 再生画面	34
■ II-6-2. プレイリストの再生	35
■ II-6-3. ショートカットキーによる操作	37
II-7. その他の操作	38
■ II-7-1. 設定・管理画面	38
■ II-7-2. 映像出力位置の設定	40
III. Appendix	41
III-1. 動作確認済み USB ストレージ	42
III-2. ハードウェア仕様	43
■ III-2-1. MEBC-X1	43
■ III-2-2. MEBC-X1S	44

I. はじめに

この章では、MEBC-X1 / MEBC-X1S のご使用やセットアップの前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552

FAX: 078-265-1550

(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00)

※土日祝および当社指定休日を除く

⊘ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。電源コードを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

⊘ 分解しない

ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

⊘ ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

⊘ 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、本体の電

源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⊘ ぬれた手で AC アダプターを触らない

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⊘ 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⊘ 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用したりしないでください。火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⚠ 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

電源コードやケーブルは整理して配置してください。足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

⚠ お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから外してください。

⚠ 付属の電源コード以外は使用しない

付属の電源コード以外の製品を使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⚠ 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

■ 個人情報の取扱について

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施
当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。

※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。

- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見は <http://www.mediaedge.co.jp> までご連絡ください。

■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ③ Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。
- ④ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と

相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

I-2. ご使用前に

■ パッケージ内容の確認

本製品のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。
製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社
カスタマーサポート
TEL: 078-265-1552
FAX: 078-265-1550
(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

同梱物

- MEBC-X1 または MEBC-X1S 本体
- 電源コード
- SDI 変換ケーブル×5
- 取扱説明書(本書)
- お客様情報登録案内

■ 当社ホームページについて

本製品を始めとする当社の最新情報をホームページ(<http://www.mediaedge.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバー、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

■ ソフトウェアのバージョンについて

本書では本製品ソフトウェアバージョン 2.0 での操作方法を説明しています。

I-3. 留意事項

■ 表記について

- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。
- 本書では MEBC-X1S について、MEBC-X1 と共通の事項は MEBC-X1 と表記しています。

■ ご注意

- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

■ 制限事項

現行ソフトウェアでの制限事項を示します。

- すべての XAVC、XDCAM ファイルが再生できるわけではありません。あらかじめ動作確認した上で使用してください。
- 外部ストレージからの直接再生は USB3.0 接続でデータ転送が高速に行える HDD をご使用ください。(動作確認済み HDD については III-1 動作確認済み USB ストレージを参照ください。)USB2.0 や USB3.0 接続の HDD であっても低速なデバイスでは再生時に映像が正しく再生されないことがあります。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾 (GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ) または GNU 劣等一般公衆利用許諾 (GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ) に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

また本製品は、IPA フォントを使用しています。本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

II. MEBC-X1 について

この章では、MEBC-X1 の概要や各部の機能について説明します。

II-1. 概要と特長

■ II-1-1. MEBC-X1 の概要

本製品は内蔵 HDD または本体に接続した USB ストレージに格納された 4K/2K XAVC、XDCAM ファイルが再生できるポン出しプレイヤーです。

メニューからあらかじめ作成したプレイリストを選択して再生を行います。

4K 映像は 3G-SDI(1920×1080/59.94p)×4 で出力します。

■ II-1-2. MEBC-X1 の特長

- 複数の動画ファイルの in 点～out 点を指定し、それぞれをつなぎあわせ、シームレスに再生可能です。
- GUI の編集画面でプレビューウィンドウを見ながら各ファイルの in 点および out 点の指定や再生順序の入れ替えができます。in 点/out 点はコマ送り、コマ戻しボタンを押してプレビューを見ながら設定することができます。
- 3G-SDI×4 の出力と同時に GUI のプレビューウィンドウに表示できます。
- USB HDD(USB3.0 接続)や SxS メモリカード(USB3.0 接続)の直接再生をサポートしています。
- キーボードのショートカットキーにより、再生開始、停止やコンテンツの選択などの操作が可能です。

■ II-1-3. 再生可能なコンテンツ

動画

- 形式/コンテナ
 - XAVC(MXF)
 - XDCAM(MXF)

 - ビデオ
 - XAVC Intra(※1), Long GOP(※2)
 - MPEG-4 AVC/H.264
 - High Profile, High 4:2:2 Profile, High 4:2:2 Intra Profile
 - (※1) CBG compression は非対応です
 - (※2) XAVC Long GOP は再生可能ですが、コマ戻しが正しくできないことがあります
 - ◇ フレームレート
 - 59.94p, 50p(※3), 29.97p(※3), 25p(※3), 23.98p(※3)
 - (※3) SDI 出力信号のフレームレートは 59.94p 固定であり、表示フレームが重複されるため 59.94 fps 以外のコンテンツは滑らかに表示されません
 - ◇ 解像度
 - 3840x2160 および 4096x2160
 - ただし 4096x2160 は左右 128pixel をサイドカット表示(有効表示 3840x2160pixel)
 - ◇ 総ビットレート(コンテナ含む)
 - 最大 600Mbps
 - XDCAM HD422
 - MPEG-2 422P@HL
 - ◇ フレームレート
 - 59.94i, 50i(※4), 29.97p(※4), 25p(※4), 23.98p(※4)
 - (※4) SDI 出力信号のフレームレートは 59.94p 固定であり、表示フレームが重複されるため 59.94 fps 以外のコンテンツは滑らかに表示されません
 - ◇ 解像度
 - 1920x1080
 - ◇ 総ビットレート(コンテナ含む)
 - 最大 50Mbps
-
- オーディオ
 - リニア PCM, 48kHz, 最大 24bit, 最大 16トラック

■ II-1-4. USB ストレージ

- 接続可能 USB ストレージ
USB2.0 / USB3.0 接続の USB HDD、SSD、メモリ

USB ストレージからの直接再生を行う場合は USB3.0 接続でデータ転送が高速に行える HDD をご使用ください。USB2.0 や USB3.0 接続の HDD であっても低速なデバイスでは再生時に映像が正しく再生されないことがあります。動作確認済み HDD については III-1 動作確認済み USB ストレージを参照ください。

USB ストレージを認識しない(設定/管理画面の「ドライブの安全な取り外し」に挿入した USB ストレージが表示されない)場合、ファイルシステムが壊れていることが考えられます。Windows PC 等で USB ストレージの修復やフォーマットを行った後、再度 USB ストレージを挿入してください。

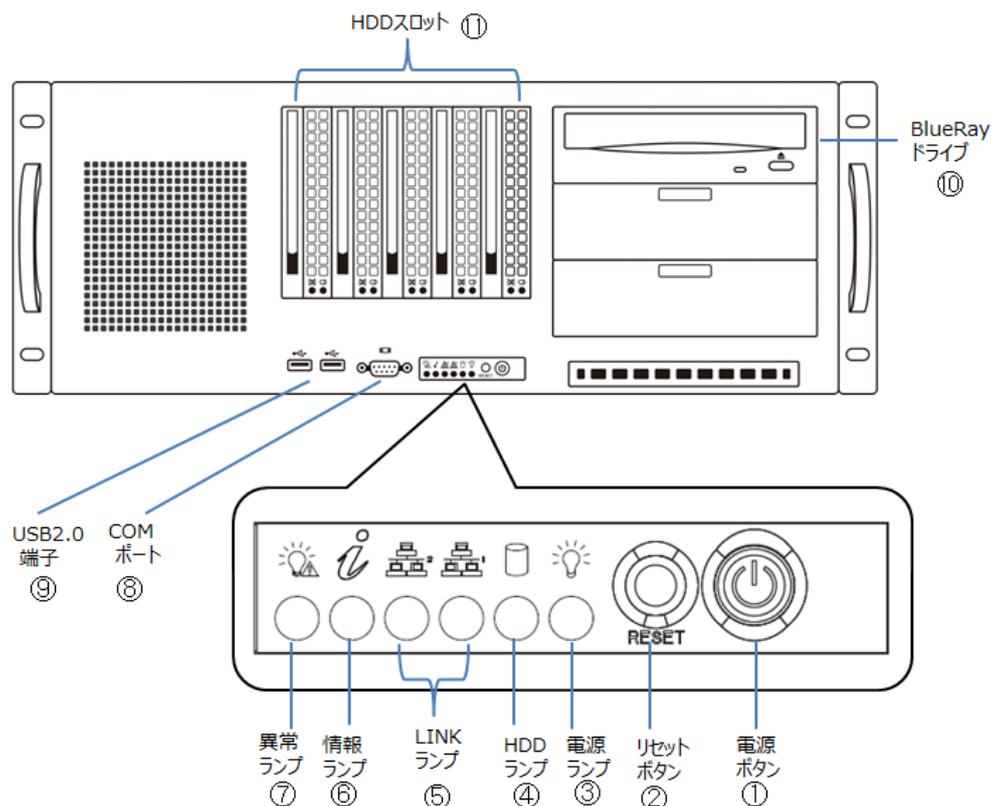
USB ストレージを取り外す場合は、必ず設定/管理画面の「ドライブの安全な取り外し」の操作を行ってください。本操作を行わずに USB ストレージを取り外した場合、ファイルシステムが壊れ、ストレージ上のファイルが消失することがあります。

- 対応ファイルシステム
 - ・NTFS
 - ・exFAT
 - ・UDF (読み込みのみ)
 - ・FAT16 / FAT32 (※)(※) ファイルシステムの制限により 1 ファイルあたりの最大サイズは 4GB です。

II-2. 各部の名称と機能

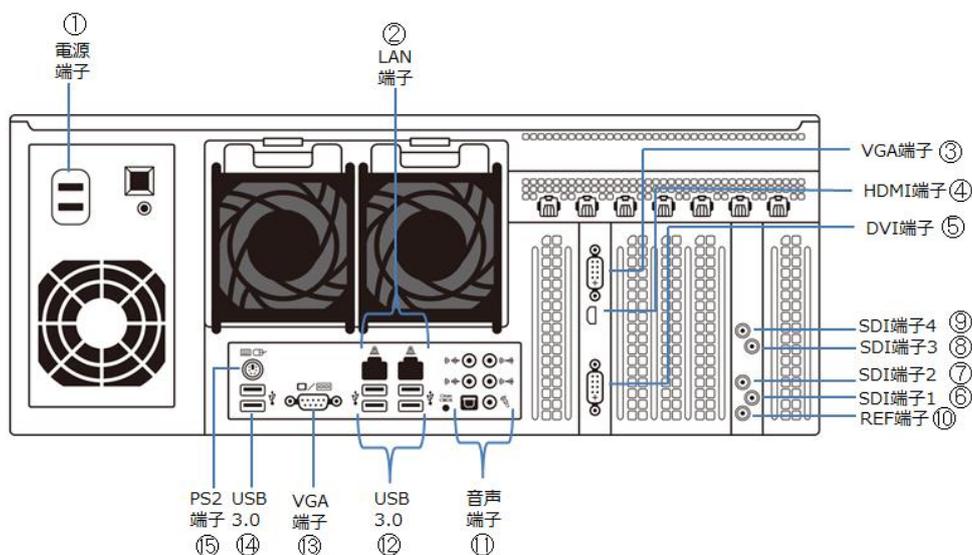
■ II-2-1. MEBC-X1

II-2-1-1. 前面部



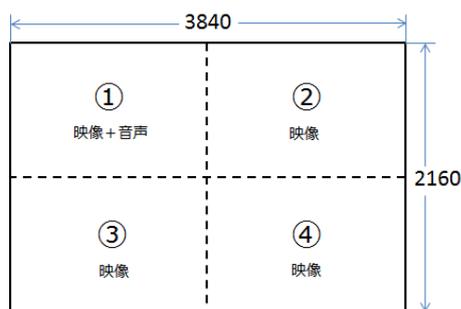
- ① 電源ボタン……………起動およびシャットダウン
- ② リセットボタン……………緊急時にシステムをリブートする時に使用します。
通常は使用しないでください。
- ③ 電源ランプ……………点灯:起動、消灯:シャットダウン
- ④ HDDランプ……………内蔵HDDの稼働状態を表示します。
- ⑤ LINKランプ……………NICのネットワークの状態を表示します。
- ⑥ 情報ランプ……………本システムでは使用しません。
- ⑦ 異常ランプ……………本システムでは使用しません。
- ⑧ COMポート……………RE232C端子です。本システムでは使用しません。
- ⑨ USB2.0端子……………キーボードやマウスなどを接続します。
- ⑩ BlueRayドライブ……………本システムでは使用しません。
- ⑪ HDDスロット……………HDDを搭載します。取り外さないでください。

II-2-1-2. 背面部



- ① 電源端子……………電源ケーブルを接続します。
- ② LAN 端子……………本システムでは使用しません。
- ③ VGA 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ④ HDMI 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ⑤ DVI 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ⑥ SDI 端子 1……………SDI 出力①の端子です。映像と音声を出力します。
- ⑦ SDI 端子 2……………SDI 出力②の端子です。映像のみ出力します。
- ⑧ SDI 端子 3……………SDI 出力③の端子です。映像のみ出力します。
- ⑨ SDI-端子 4……………SDI 出力④の端子です。映像のみ出力します。

SDI端子と4K映像の関係

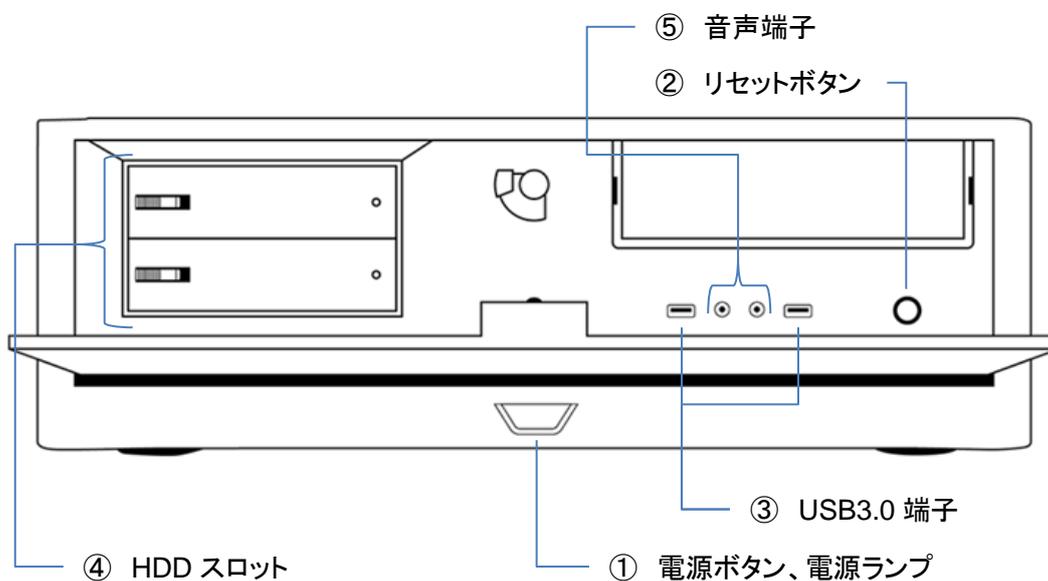


※音声はSDI端子1からのみ出力されます

- ⑩ REF 端子……………本システムでは使用しません。
- ⑪ 音声端子……………本システムでは使用しません。
- ⑫ USB3.0 端子……………USB ストレージやキーボード/マウスを接続します。
- ⑬ VGA 端子……………本システムでは使用しません。
- ⑭ USB3.0 端子……………USB ストレージやキーボード/マウスを接続します。
- ⑮ PS2 端子……………PS/2 タイプのキーボード/マウスを接続します。

■ II-2-2. MEBC-X1S

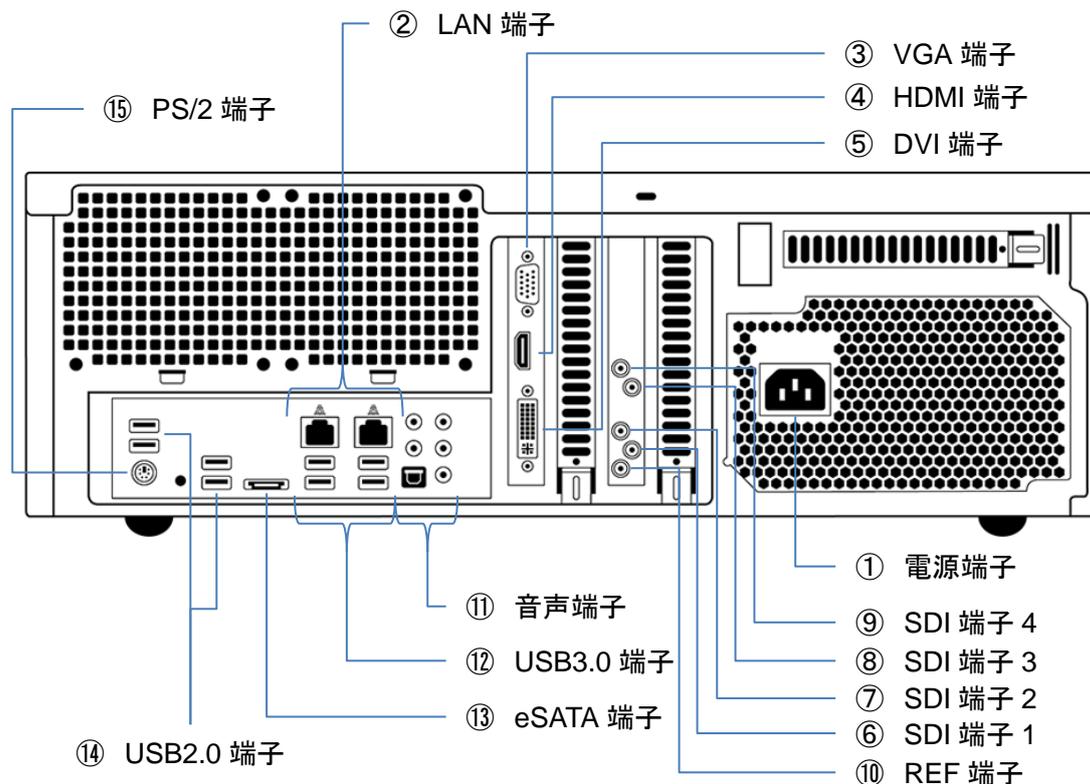
II-2-2-1. 前面部



※前面パネルの蓋を開けた状態の図です

- ① 電源ボタン、電源ランプ 起動およびシャットダウンします
点灯: 起動、消灯: シャットダウン
- ② リセットボタン 緊急時にシステムをリブートする時に使用します。
通常は使用しないでください。
- ③ USB3.0 端子 USB ストレージやキーボード/マウスを接続します。
- ④ HDD スロット HDD を搭載します。取り外さないでください。
- ⑤ 音声端子 本システムでは使用しません。

II-2-2-2. 背面部



- ① 電源端子……………電源ケーブルを接続します。
- ② LAN 端子……………本システムでは使用しません。
- ③ VGA 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ④ HDMI 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ⑤ DVI 端子……………③～⑤は排他使用となります。
- ⑥ SDI 端子 1……………SDI 出力①の端子です。映像と音声を出力します。
- ⑦ SDI 端子 2……………SDI 出力②の端子です。映像のみ出力します。
- ⑧ SDI 端子 3……………SDI 出力③の端子です。映像のみ出力します。
- ⑨ SDI-端子 4……………SDI 出力④の端子です。映像のみ出力します。

SDI端子と4K映像の関係



※音声はSDI端子1からのみ出力されます

- ⑩ REF 端子……………本システムでは使用しません。
- ⑪ 音声端子……………本システムでは使用しません。

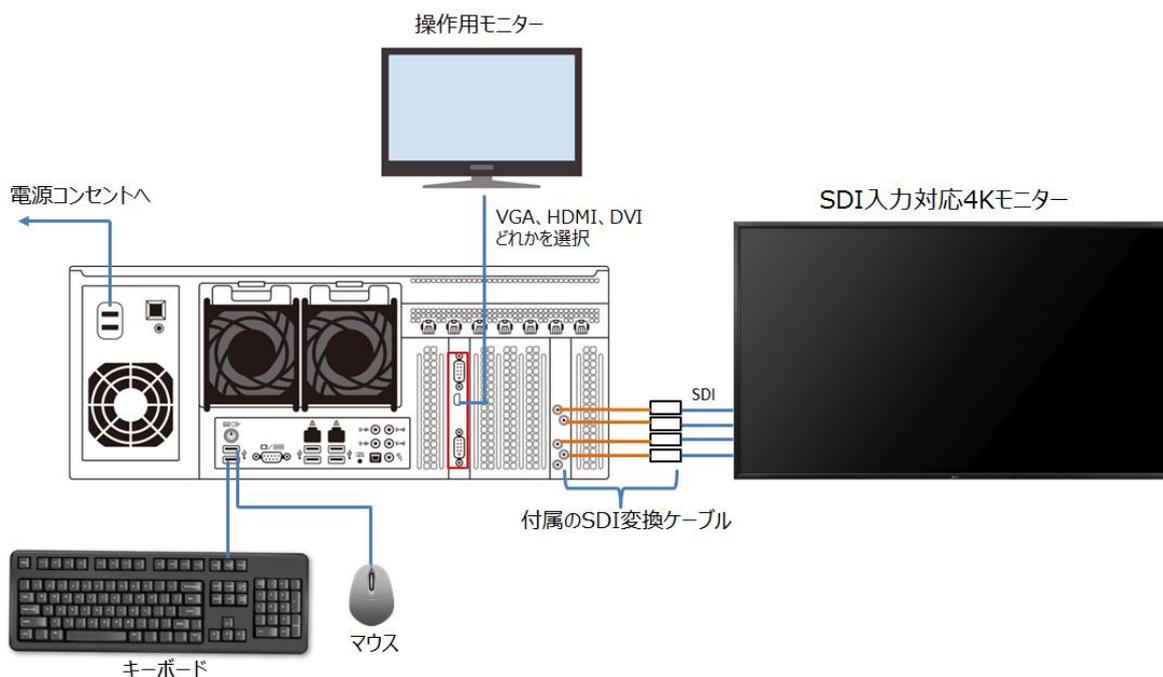
- ⑫ USB3.0 端子.....USB ストレージやキーボード/マウスを接続します。
- ⑬ eSATA 端子.....本システムでは使用しません。
- ⑭ USB2.0 端子.....キーボード/マウスを接続します。
- ⑮ PS/2 端子.....PS/2 タイプのキーボード/マウスを接続します。

II-3. 機器の接続と動作確認

■ II-3-1. 機器の接続

以下の接続例を参考に、MEBC-X1 と 周辺機器を接続してください。

- MEBC-X1 にキーボード、マウス、操作用モニター、再生用モニターを接続します。



操作用モニターは 1920 × 1080 の解像度に対応したものをご用意ください。

■ II-3-2. 起動とシャットダウン

起動

前面パネルにある電源ボタンを押してください。しばらくすると操作用モニターに再生画面が表示されます。

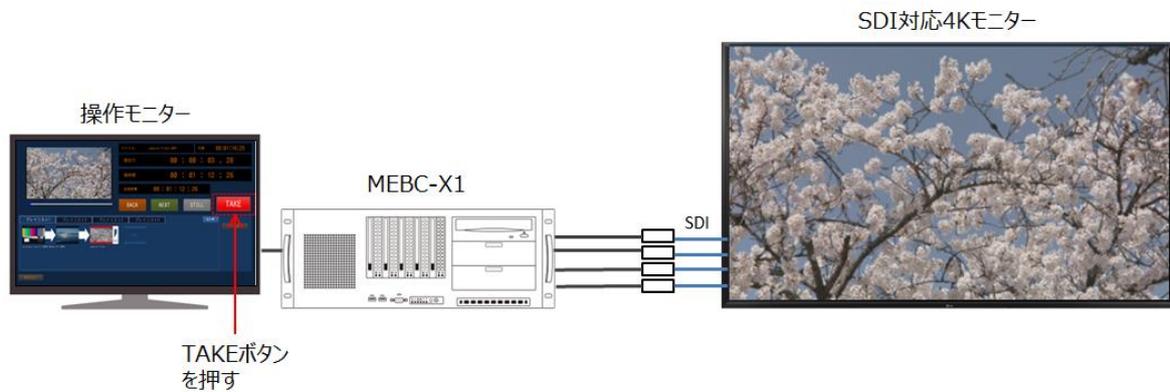
シャットダウン

前面パネルにある電源ボタンを押してください(電源ボタンを押しても数秒の間反応しないことがありますがお待ちください)。しばらくすると電源ランプが消灯し、装置の電源が切れます。

電源プラグを本装置から抜く場合は必ず電源ボタンを押して停止処理を行い、電源ランプの消灯確認してください。装置の故障や内蔵 HDD のコンテンツファイルの破損の恐れがあります。

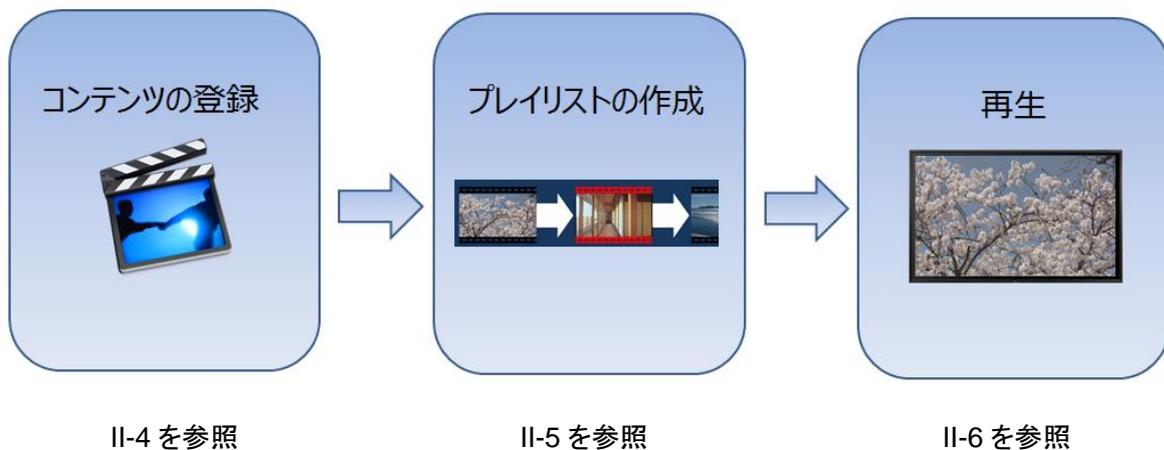
■ II-3-3. 再生確認

再生画面に登録されているサンプルコンテンツをマウスでクリックし、TAKE ボタンをクリックしてください。サンプルコンテンツが再生され、4K モニターに映像が表示されます。



■ II-3-4. 作業の流れ(ワークフロー)

コンテンツ登録→プレイリスト作成→再生となります。

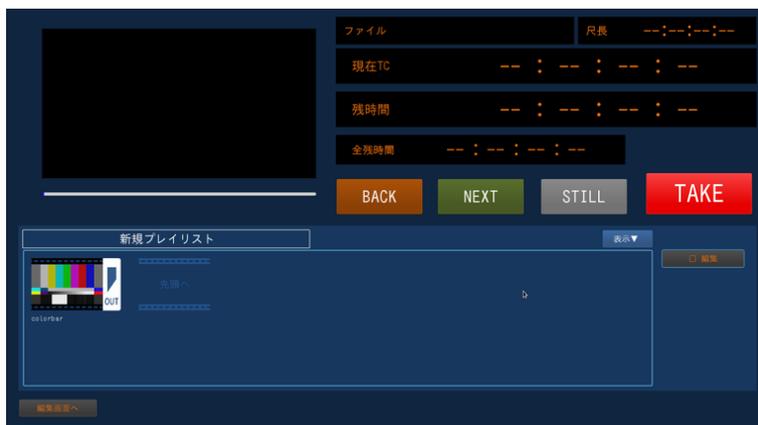


■ II-3-5. 操作画面について

本製品には次の画面があります。

II-3-5-1. 再生画面

あらかじめ登録されたプレイリストにしたがって再生を行うための画面です。
起動直後はこの再生画面が表示されます。



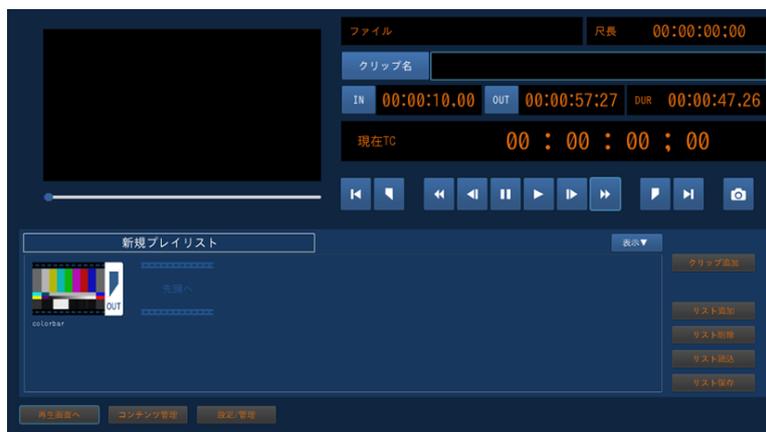
誤操作防止の為起動直後はクリップの入れ替え等のプレイリストの編集はできませんが、編集ボタンを押すことでプレイリストの簡易編集が可能です。

プレイリストの簡易編集が可能な状態では、クリップの追加、クリップの再生順序、再生動作設定の編集のみ行えます。その他の機能(プレイリストの管理やクリップの詳細な編集、コンテンツの管理など)は編集画面で行います。

II-3-5-2. 編集画面

クリップやプレイリストを編集するための画面です。

編集画面は、「再生画面」左下の「編集画面へ」ボタンをクリックするとこの画面が表示されます。

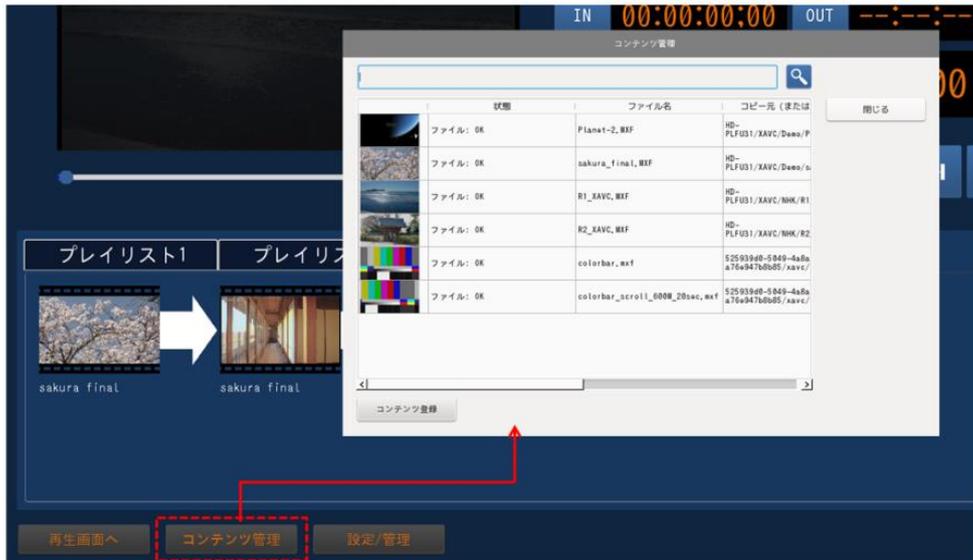


プレイリストの編集およびクリップの IN 点、OUT 点の設定やプレイリストの管理、コンテンツの管理などが行えます。

II-4. コンテンツの操作

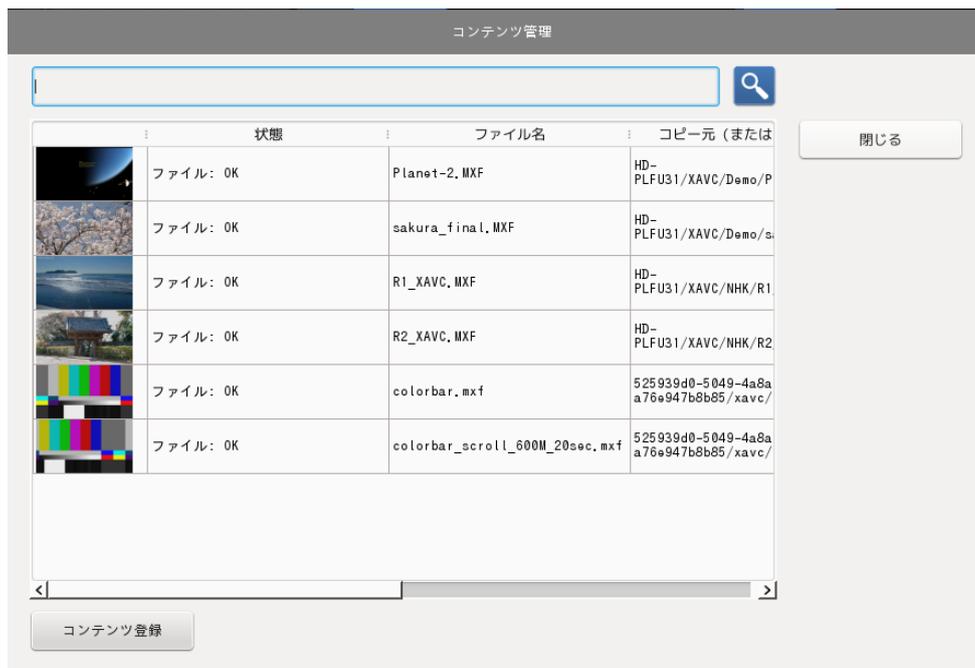
■ II-4-1. コンテンツの管理

クリップで利用するためのコンテンツの管理(登録、削除)を行います。
 コンテンツの管理は、「編集画面」左下の「コンテンツ管理」ボタンをクリックして「コンテンツ管理」ダイアログで行います。



コンテンツ管理ボタンを押すとコンテンツ管理ダイアログが表示されます。

1、コンテンツ管理ダイアログには登録済み、または、登録中のコンテンツリストが表示されます。



2、コンテンツの検索

- ・検索ボックスに検索ワードを入力し、検索ボタンをクリックします。

=> コンテンツファイル名に検索ワードを含むものだけが、コンテンツリストに表示されます。



- ・検索ボタン(バツ印付)をクリックする

=> 検索ワードがクリアされ、すべてのコンテンツが表示されます。

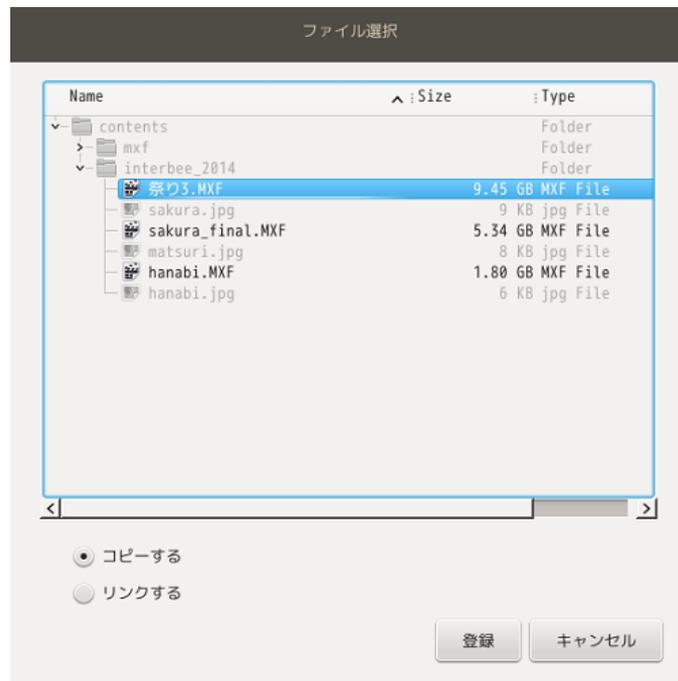


文字入力で漢字を使ったときは Windows キー+スペースキーで日本語入力を有効にできます。2つのキーをもう一度同時に押すと、無効になります。

3、コンテンツの登録

・ダイアログ下の「コンテンツ登録」ボタンをクリックします。

=> ファイル追加ダイアログが表示されます。



4、ファイル追加ダイアログからコンテンツに登録する動画ファイル(MXF)を選択して、

「コピーする」または「リンクする」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

=> 選択したファイルがコンテンツリストに追加されます。

※コピー中のファイルはコピーが完了するまではクリップに追加できません。

①コピーする

USB ストレージに格納されているコンテンツを内蔵 HDD にコピーします。

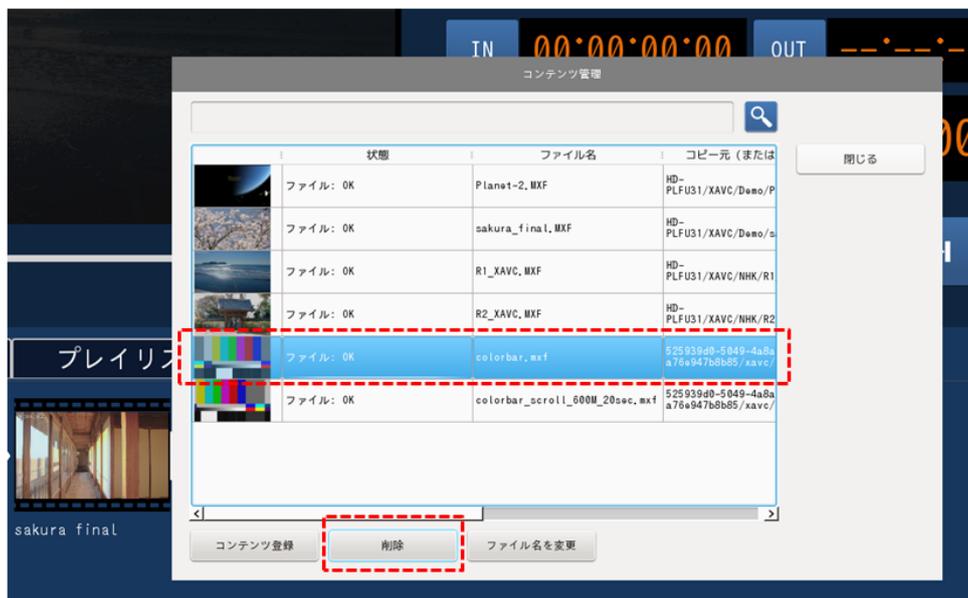
②リンクする

USB ストレージに格納されているコンテンツを直接再生します。

USB2.0 などの低速な USB ストレージからの直接再生を行うと、転送速度が足りずに正常に再生できないことがあります。 その場合はコピーを選択し、内蔵 HDD から再生を行ってください。

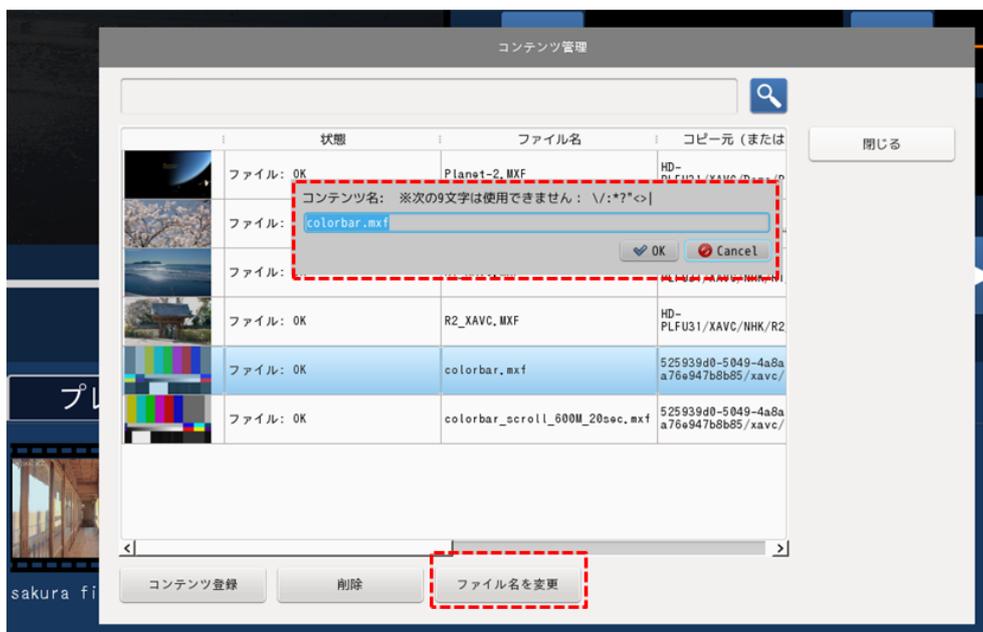
5、コンテンツの削除

- ・コンテンツリストから削除したいコンテンツを選択します。
- ・ダイアログ下の「削除」ボタンをクリックします
=> 選択したコンテンツが削除されます。（リンク先のファイルは削除されません）



6、コンテンツの名前変更

- ・コンテンツリストから名前を変更するコンテンツを選択します。
- ・ダイアログ下の「ファイル名を変更」ボタンをクリックします。
=> 指定した名前に変更されます。



II-5. プレイリストの操作

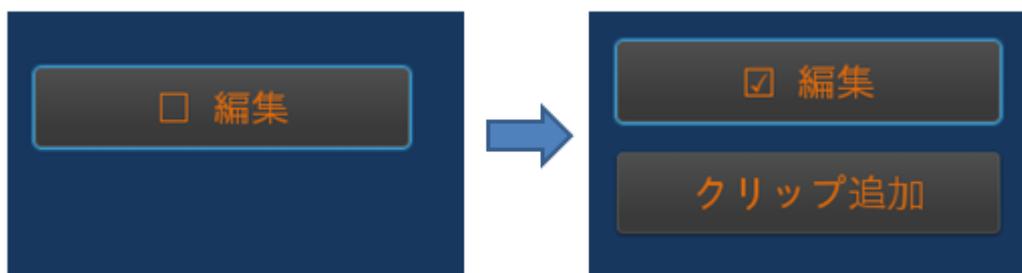
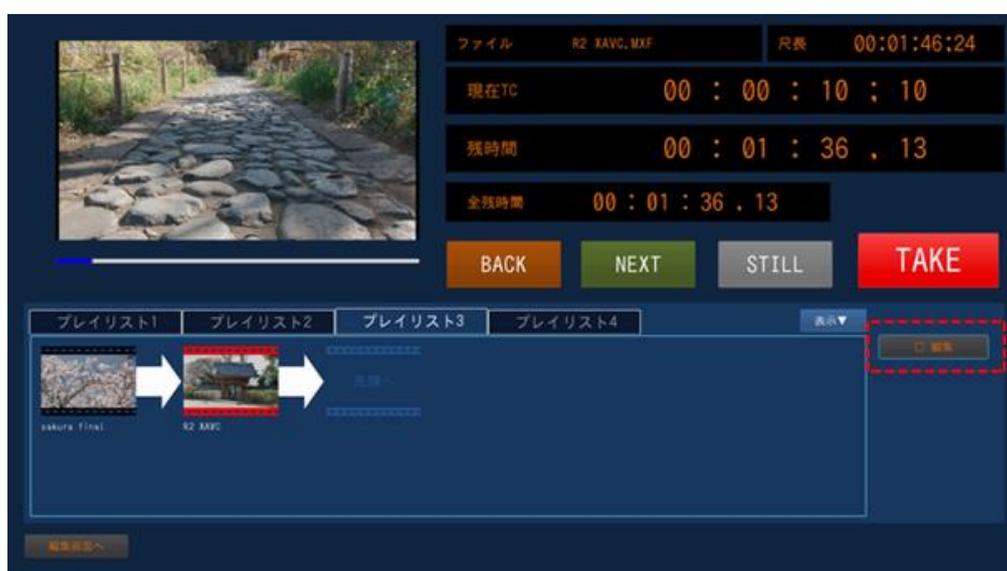
■ II-5-1. プレイリストの簡易編集

プレイリストを編集して、クリップの追加、削除、連続再生やリピートの指定などができます。

1. プレイリストの簡易編集を有効にします

①再生画面の場合は、プレイリストパネルの右側の編集ボタンをクリックします。

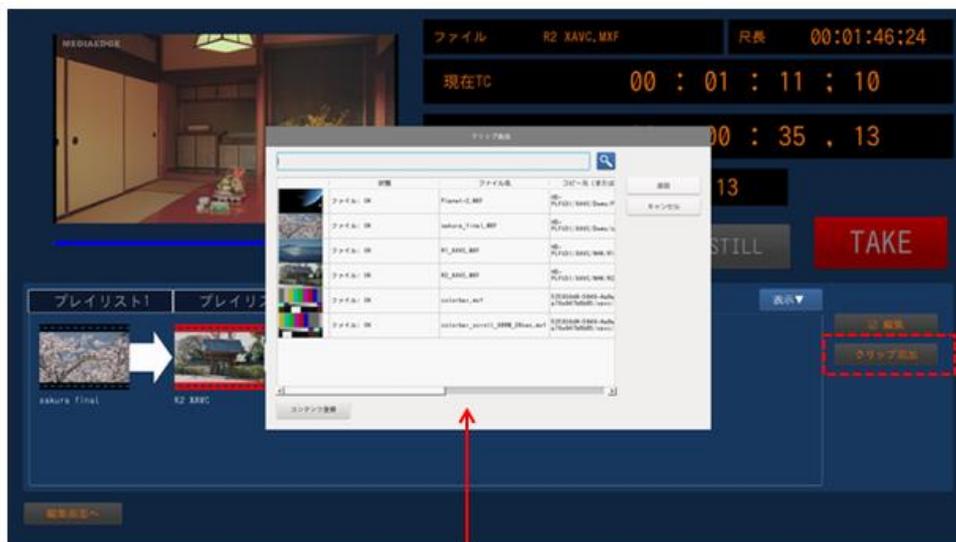
=> 編集ボタンにチェックが入り、プレイリストの編集が可能になります。



2、クリップの追加

① プレイリストパネルの右側のクリップ追加ボタンをクリックします。

⇒ クリップ追加ダイアログが表示されます。



クリップ追加ダイアログ

② ダイアログのコンテンツリストから追加したいコンテンツを選択して OK ボタンをクリックします。

※動画ファイルをコンテンツに登録する方法は前述の「■ II-4-1 の 3、コンテンツ登録」を参照。

⇒ プレイリストパネルにダイアログで選択したコンテンツがクリップとして追加されます。



クリップが追加される

3、クリップの削除

- ・編集したいクリップアイコンをクリックして選択します。
⇒ プレイリストパネルの右側にクリップ削除ボタンが表示されます。
- ・クリップ削除ボタンをクリックします。
※クリップアイコンの右クリックからも可能です。

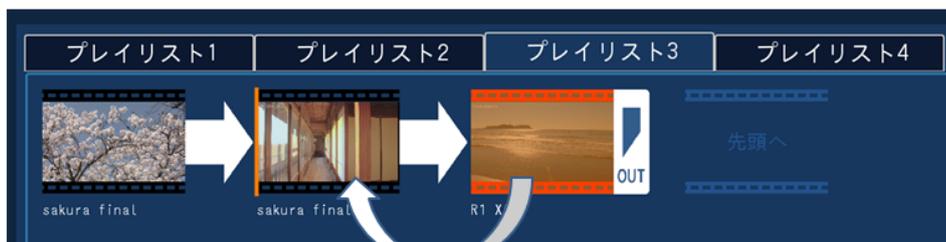


クリップを選択すると
クリック追加ボタンの
下にクリップ削除ボタン
が表示される

クリップ削除ボタン
を押すと選択された
クリップが削除される

4、クリップの移動

- ・クリップアイコンをドラッグしてクリップの順序を変更可能です。
※但し、再生準備中のクリップは移動することができません。



ドラッグ&ドロップ
3つ目のクリップを
2つ目の位置に
ドラッグする



2つ目のクリップと3つ目の
クリップ及び次の動作が
入れ替わります。

5、再生動作の設定

クリップが最後まで再生されたときの動作を指定します。

- ・各クリップの動作設定アイコン(クリップ右側の部分)をクリックして選択します。
- ⇒ プレイリストパネルの右側にクリップの動作設定ボタンが表示されます。
- ・動作設定ボタンをクリックして、再生動作を選択します。

※動作設定アイコンの右クリックからも設定可能です。

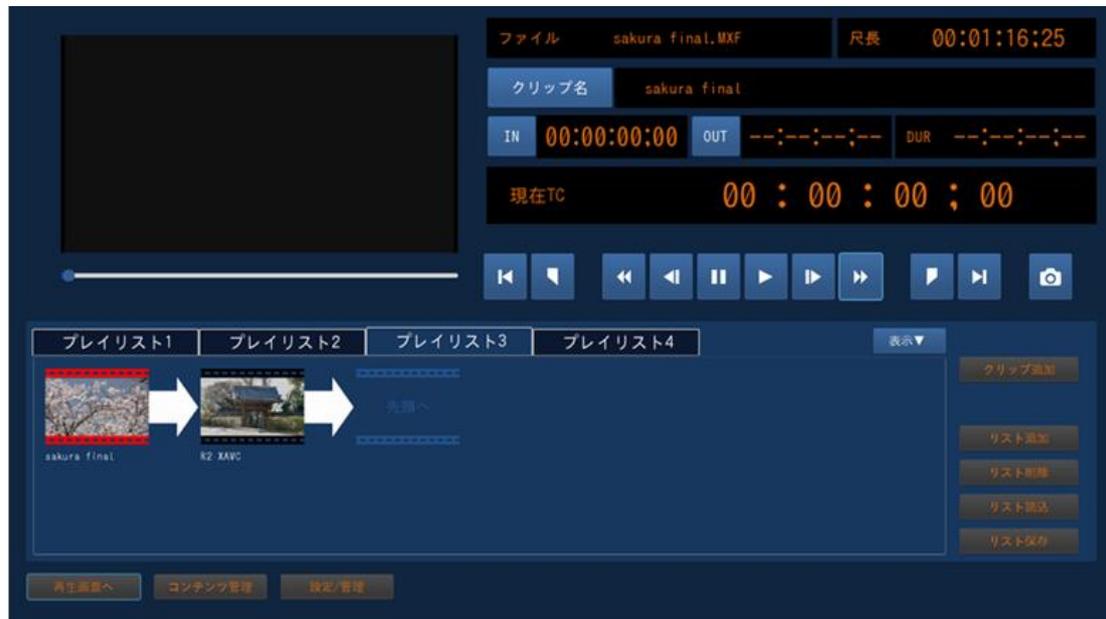


このアイコンの上でマウスを右クリックすると動作選択メニューが表示される

項目	内容
OUT 点で停止	 クリップの OUT 点で停止します。
末尾で停止	 クリップの末尾で停止します。
次の IN 点で停止	 次のクリップの IN 点にシークして停止します。
リピート	 クリップの IN 点に戻って再生します。
次を再生	 自動的に次のクリップの IN 点から再生を開始します。

■ II-5-2. プレイリストの編集画面

プレイリスト編集画面です。



編集画面では次の操作ができます。

- 1、選択したクリップの再生
- 2、プレイリストの編集(クリップの追加、削除、移動、動作設定)
 - ※ ■ II-5-1 プレイリストの簡易編集を参照
- 3、クリップの編集(IN 点、OUT 点の設定)
- 4、プレイリストの管理(リストの追加、削除、保存、読み込み)
- 5、コンテンツの管理(コンテンツファイルの追加、削除)
- 6、設定/管理(設定/管理画面へ移動)

■ II-5-3. クリップの再生

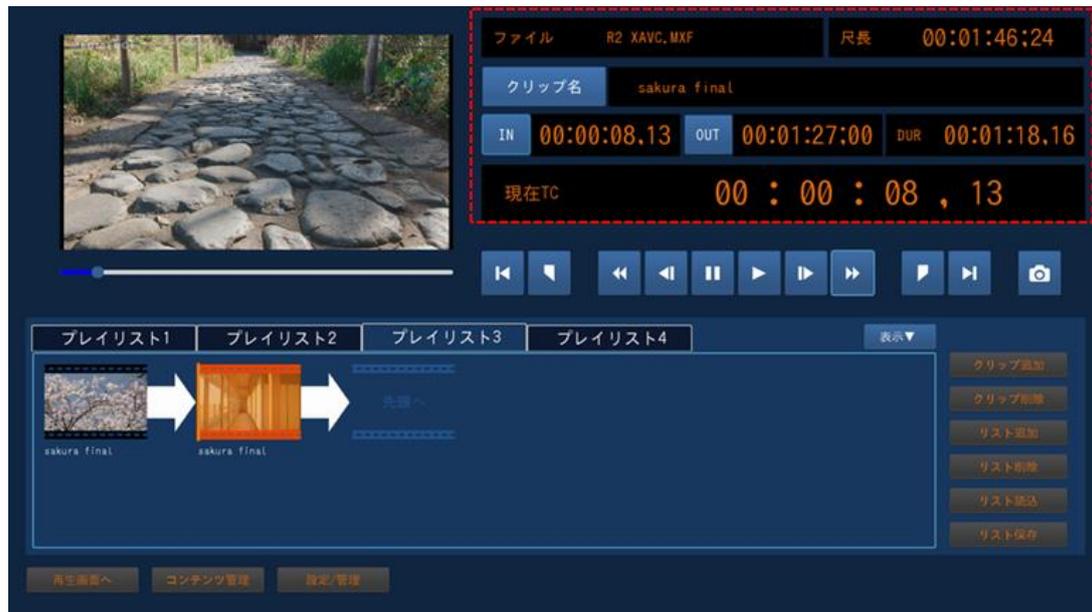
クリップの再生画面です。



項目	内容
シークバー	マウス操作することにより、クリップの先頭から末尾までシークできます。
先頭ボタン	クリップの先頭にシークします。
IN点シークボタン	クリップのIN点にシークします。
早戻しボタン	クリップの早戻し再生をします。 -2倍速～-32倍速まで変化します。
コマ戻しボタン	1フレーム戻ります。
一時停止ボタン	再生を一時停止します。
通常再生ボタン	クリップを再生します。
コマ送りボタン	1フレーム送ります。
早送りボタン	クリップの早送り再生をします。 2倍速～32倍速まで変化します。
OUT点シークボタン	クリップのOUT点にシークします。
末尾ボタン	クリップの末尾にシークします。
クリップサムネイル変更ボタン	プレビューウィンドウに表示している映像をクリップのサムネイルに設定します。

■ II-5-4. クリップの再生情報

プレビューウィンドウの右側には現在選択中のクリップの情報が表示されます。



項目	内容
ファイル	クリップに対応するコンテンツのファイル名です。
尺長	クリップ全体(ファイル先頭から末尾)の長さです。
クリップ名	クリップに設定されている名前です。 クリップ名をクリックするとクリップ名を変更できます。
IN	クリップに設定されている IN 点です。
OUT	クリップに設定されている OUT 点です。
DUR	クリップに設定されている(IN 点から OUT 点)長さです。 DUR のタイムコードの各数字をクリックすると上下ボタンが表示され、値を変更できます。
現在 TC	クリップの先頭から現在位置までの再生時間です。 現在 TC のタイムコードの各数字をクリックすると上下ボタンが表示され、値を変更できます。

■ II-5-5. クリップの編集

クリップに IN 点(再生を開始する位置)と OUT 点(再生を停止する位置)の設定が出来ます。

1、IN 点にしたい位置までスライドを移動し、IN ボタンをクリックします。

IN ボタンの右横に IN 点のタイムコードが表示されます。



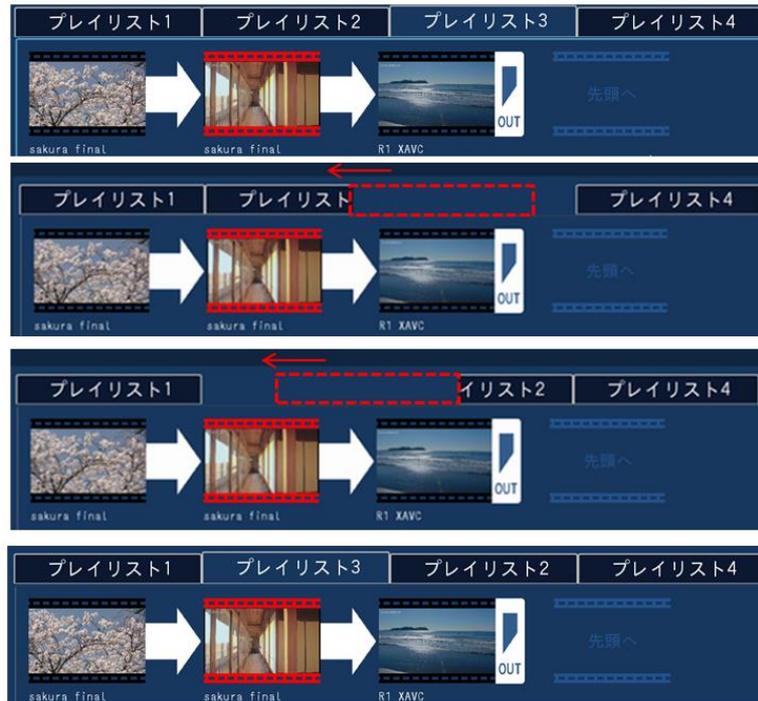
2、OUT 点にしたい位置までスライドを移動し、OUT ボタンをクリックします。

OUT ボタンの右横に OUT 点のタイムコードが表示されます。



■ II-5-6. プレイリストの編集

1、プレイリストタブでタブをドラッグして順番を変更できます。



2、プレイリストパネルの右側のボタンから次の操作ができます。



①リスト追加

=> プレイリストタブ末尾に空のプレイリストが追加されます。

②リスト削除

=> 選択中のプレイリストが削除されます。

③リスト読込

=> 指定した(保存済みの)プレイリストが読み込まれ、プレイリストタブの末尾に追加されます。

④リスト保存

=> 選択中のプレイリストを保存します。

3、選択中のプレイリストタブの右クリックから次の操作ができます。



①プレイリストの名前変更

=> プレイリストの名前が指定した名前に変更されます。

②プレイリストの複製

=> 選択中のプレイリストが複製され、選択中のプレイリストの後ろに追加されます。

③プレイリストの削除

=> 選択中のプレイリストが削除されます。

<p>■ II-5-7. ショートカットキーによる操作</p>

編集画面では以下のショートカットキーによる操作が可能です。

※ショートカットキーの割り当ては、設定/管理画面から変更可能です。

操作	キー
再生開始	Enter
一時停止	Ctrl + Enter
再生開始/一時停止のトグル動作	Space
前のフレームへ移動	Left (←)
次のフレームへ移動	Right (→)
早戻し	J
早送り	L
先頭フレームへ移動	Home
末尾フレームへ移動	End
IN 点へ移動	Shift + I
OUT 点へ移動	Shift + O
IN 点を設定	I
OUT 点を設定	O
IN 点をクリア	Alt + I
OUT 点をクリア	Alt + O
サムネイルに設定	C

II-6. 再生の操作

■ II-6-1. 再生画面

再生画面は次のように構成されています。



項目	内容
プレビューウィンドウ	再生中のコンテンツを表示します。
シークバー	コンテンツの再生位置を表示します。(シークはできません)
クリップの再生情報	クリップの再生情報を表示します。
プレイリストタブ	プレイリストの切り替えを行います。
プレイリストパネル	コンテンツの再生順序をわかりやすく表現します。
クリップアイコン	再生させるコンテンツをアイコンで表現しています。
動作アイコン	<p>各コンテンツの次の動作を表現しています。</p> <p>動作としては下記の種類があります。</p> <div style="text-align: center;">  <p>OUT点で停止 末尾で停止 次のINで停止 リpeat 次を再生</p> </div> <p>編集モードで動作を選択できます。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>プレイリストの最後尾のアイコンが「次を再生」で、且つ次が「先頭へ」ならばプレイリストを何回もループする動きとなります。</p>

■ II-6-2. プレイリストの再生

1、プレイリストタブから再生したいプレイリストをクリックして選択します。

=> プレイリストパネルに選択したプレイリストの内容が表示されます。



2、プレイリストパネルから再生したいクリップアイコンをクリックして選択します。

=> クリップのIN点で一時停止状態になります。



3、TAKE ボタンをクリックします。

=> 再生が開始されます。

※クリップの最後まで再生されたときの動作(停止、次を再生、リピートなど)が設定可能です。

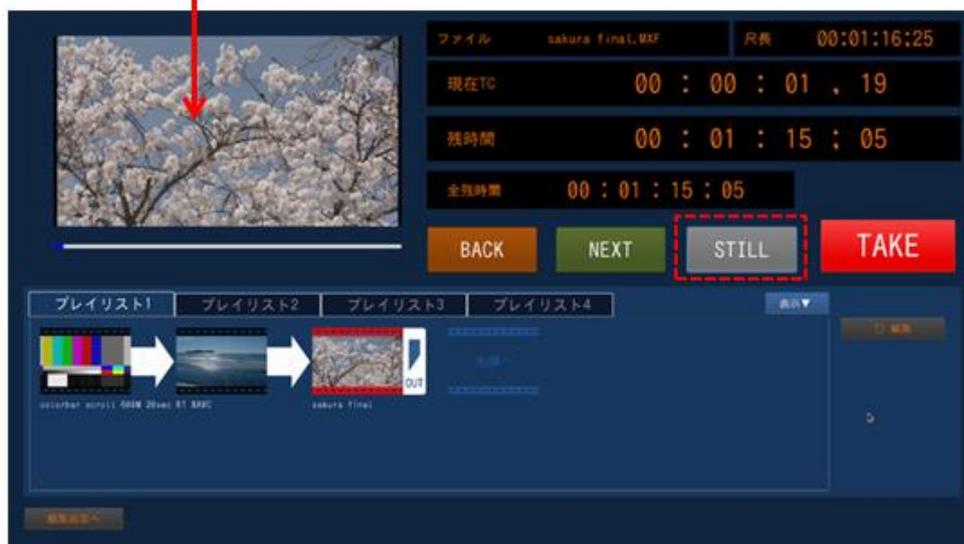
「■ II-5-1 プレイリストの簡易編集 - 5. 再生動作の設定」を参照。



4、STILL ボタンをクリックします。

=> 再生が一時停止します。

再生が一時停止する



5、BACK ボタンをクリックします。

=> 1つ前のクリップの IN 点にシークします。

(再生中なら再生が開始します。一時停止中なら一時停止状態になります。)



選択クリップが3つ目から
2つ目に移動

6、NEXT ボタンをクリックします。

=> 次のクリップの IN 点にシークします。

(再生中なら再生が開始します。一時停止中なら一時停止状態になります。)



選択クリップが2つ目から
3つ目に移動

■ II-6-3. ショートカットキーによる操作

再生画面では以下のショートカットキーによる操作が可能です。

※ショートカットキーの割り当ては、設定/管理画面から変更可能です。

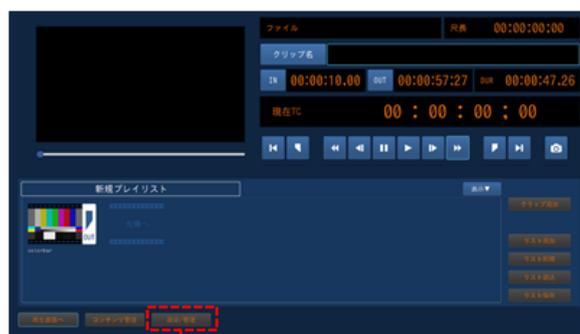
操作	キー
再生開始 (TAKE)	Enter
一時停止 (STILL)	Ctrl + Enter
再生開始/一時停止のトグル動作	Space
前のクリップへ移動 (BACK)	Left (←)
次のクリップへ移動 (NEXT)	Right (→)
1 番目から 10 番目のクリップの選択	1,2,...,0
11 番目から 20 番目のクリップの選択	Q,W,E,R,T,Y,U,I,O,P

II-7. その他の操作

■ II-7-1. 設定・管理画面

設定や管理は「編集画面」左下の「設定/管理」ボタンをクリックして「設定・管理」画面で行います。

編集画面



設定/管理画面では次の操作ができます。

1、システム情報の表示

システム情報(シリアルナンバーとバージョン番号)を確認できます。

サポートの際にはシステム情報を当社カスタマーサポートにお伝えください。

2、表示言語の設定

GUI の表示言語を変更できます。

Japanese(日本語)または English(英語)を選択し、セットをクリックします。

設定の変更を反映するためにはシャットダウンおよび起動が必要です。

3、日時の設定

システムの時計を設定します。

コンテンツファイルの更新日時などに反映されるため正しい時刻を設定してください。

4、ショートカットキーの設定

再生画面、編集画面で使用するショートカットキーの割り当てを変更できます。

5、映像出力位置の設定

SDI 出力①～④に出力する映像の位置を調整できます。(詳細は■ II-7-2 を参照)

ベゼル補正や出力位置の入れ替えにご利用ください。

6、ドライブの安全な取り外し

- ・接続されている USB ストレージが表示されます。取り外しを行う USB ストレージを選択し[実行]を押してください。
- ・「ドライブを安全に取り外すことができます。」のダイアログ表示後、対象の USB ストレージを取り外してください。

USB ストレージを取り外す場合は、必ずドライブの安全な取り外しの操作を行ってください。本操作を行わずに USB ストレージを取り外した場合、ファイルシステムが壊れ、ストレージ上のファイルが消失することがあります。

7、データーのバックアップ

- ・外部メディアにプレイリストと登録コンテンツのデータをバックアップできます。
(動画ファイル本体はバックアップに含まれないため、リストアー後に再コピーする必要があります。)
- ・USB 端子にデータ保存用の USB ストレージを挿入し、[バックアップ]をクリックし、保存先を選択します。
- ・「データーのバックアップを完了しました。」のダイアログが表示され、バックアップが完了します。

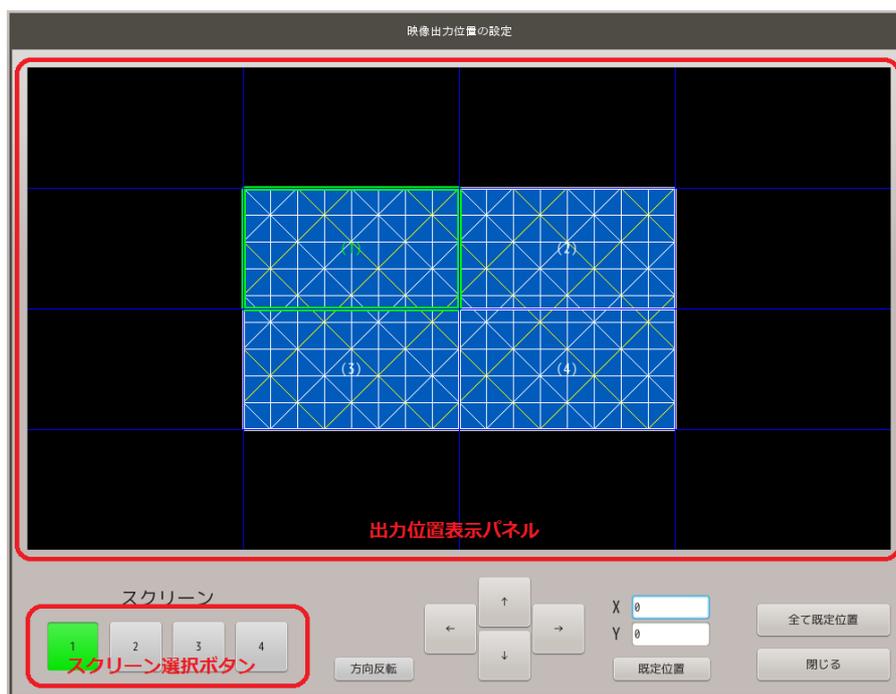
8、データーのリストアー

- ・バックアップしたデータを復元します。現在のデータはすべて削除されます。
- ・データが保存された USB ストレージを挿入し、[リストアー]をクリックし、保存されたバックアップデータ(~.x1b)を選択します。
- ・「データーのリストアーを完了しました。」のダイアログが表示され、リストアーが完了します。
- ・動画ファイル本体はバックアップに含まれないため、リストアー後に次の操作を行います
- ・コンテンツが格納されている USB ストレージを接続します
- ・編集画面で[コンテンツ管理]ボタンをクリックし、コンテンツ管理ダイアログを表示します
- ・[再登録]ボタンをクリックします。状態がファイルのコンテンツはコピー元ストレージから内蔵 HDD にコピーされます。

9、ログのエクスポート

- ・システムの内部情報を USB ストレージに出力します。
- ・装置の故障等で不具合が発生した場合、取得したログを当社カスタマーサポートまでお送りください。

■ II-7-2. 映像出力位置の設定



映像出力位置の設定ダイアログでは次の手順で SDI 出力①～④に出力する映像の位置調整を行います。

(1) スクリーン選択ボタンでスクリーンを選択します。

(スクリーン 1～4 がそれぞれ、SDI 出力①～④に対応)

=> 選択されたスクリーンが、出力位置表示パネル上に緑色で表示されます。

(2) 以下のいずれかの方法で選択中のスクリーンの位置を調整します。

【注意】 X 方向の移動の最小単位は 6 ピクセルです。

(a) 出力位置表示パネルをクリックします。

=> 選択中のスクリーンがクリックしたグリッド(青線)に移動します。

(b) X,Y の値を変更します。

=> X,Y の値に従って選択中のスクリーンが移動します。

※X,Y の値は各スクリーンの既定位置からの相対位置(ピクセル)を表します。

(c) 矢印ボタンをクリックします。

=> クリックした矢印の向きにスクリーンが移動します。

※「方向反転」ボタンによって矢印ボタンによる移動方向を反転できます。

SDI 出力の映像を見ながら調整する際に使用すると直観的に操作できます。

III. Appendix

III-1. 動作確認済み USB ストレージ

MEBC-X1 では次の SxS メモリカードでの動作を確認しています。

- ・USB カードリーダー:ソニー株式会社製 SBAC-US30
- ・SxS メモリカード:ソニー株式会社製 SBP-64C (SxS PRO+)

MEBC-X1 では次の USB HDD での動作を確認しています。

- ・I-O DATA 製 HDC-LA4.0 (USB 3.0 接続 4TB)
- ・I-O DATA 製 HDJ-UT2.0 (USB 3.0 接続 2TB)
- ・Buffalo 製 HD-LC4.0U3/N (USB 3.0 接続 4TB)

III-2. ハードウェア仕様

■ III-2-1. MEBC-X1

映像出力		
SDI 出力	形式	3G-SDI 8/10-bit YUV 4:2:2 (SMPTE 424M / SMPTE 425M-AB 準拠) エンベデッドオーディオ AES3(リニア PCM) 48K, 最大 24bit, 最大 16トラック
	端子	BNC × 4 (付属の SDI 変換ケーブルを使用)
	負荷インピーダンス	75 Ω
	出力解像度	1920x1080/59.94p
操作画面	端子	VGA / HDMI / DVI
	出力解像度	1920x1080/59.94p
汎用入出力		
USB ポート	形式	USB 2.0 準拠
	端子	USB Type A × 2 (前面)
	形式	USB 3.0 準拠
	端子	USB Type A × 6 (背面)
ストレージ		
記録領域構成	120GB (システム) + 6TB (データ)	
収録可能時間	600Mbps のコンテンツを約 20 時間分	
定格		
電源電圧	本体	入力: AC 100V~240V (50Hz/60Hz)
	最大消費電力	通常動作時: 250W
温湿度条件	動作温度/湿度範囲	10°C~35°C / 20%~80% ※但し結露なきこと
その他		
外形寸法	437(W) × 521(D) × 178(H)mm 突起物除く	
質量	約 18kg	

■ III-2-2. MEBC-X1S

映像出力		
SDI 出力	形式	3G-SDI 8/10-bit YUV 4:2:2 (SMPTE 424M / SMPTE 425M-AB 準拠) エンベデッドオーディオ AES3(リニア PCM) 48K, 最大 24bit, 最大 16トラック
	端子	BNC × 4 (付属の SDI 変換ケーブルを使用)
	負荷インピーダンス	75 Ω
	出力解像度	1920x1080/59.94p
操作画面	端子	VGA / HDMI / DVI
	出力解像度	1920x1080/59.94p
汎用入出力		
USB ポート	形式	USB 2.0 準拠
	端子	USB Type A × 4 (背面)
	形式	USB 3.0 準拠
	端子	USB Type A × 6 (前面 × 2、背面 × 4)
ストレージ		
記録領域構成	120GB (システム) + 3TB (データ)	
収録可能時間	600Mbps のコンテンツを約 10 時間分	
定格		
電源電圧	本体	入力: AC 100V ~ 240V (50Hz/60Hz)
	最大消費電力	通常動作時: 220W
温湿度条件	動作温度/湿度範囲	10°C ~ 35°C / 20% ~ 80% ※但し結露なきこと
その他		
外形寸法	437(W) × 350(D) × 150(H)mm 突起物除く	
質量	約 9kg	